

議事概要記録

開催日時	令和2年5月20日(水)		開催場所	メール会議
会議種別	令和2年度 第2回理事会		議長	神藤 洋次
			書記	神藤 洋次
出席者 <敬称略>	竹中 正人、田中 規仁、木下 博之、田原 靖子、神藤 洋次、栗林 伴有、久保 光史、脇村 小津江、山本 須美子、中尾 光孝、森井 眞治、秋田 豊和、藤谷 泰明、丸澤 佳子、大石 博晃、畑 忠良 16名			
欠席者 <敬称略>	相根 弘史	オブザーバー	森下 陽子、谷本 智、大前 嘉良、藺田 豊、葛原 和紀	
次 第				
議事概要	<p>報告事項</p> <p>1. 事務局報告</p> <p>2. 承認事項</p>			
決議事項 及び 継続事項	<p>竹中会長より、新型コロナウイルス感染症が全国に広がり、近畿府県では緊急事態宣言は解除される見込みだが、理事各位の感染リスクも考慮し、最良策としてメール会議で理事会を行うと指示があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p><常務理事会報告></p> <p>以下の3点について、理事会メール会議にて承認事項として提示することとした。内容については承認事項に記載する。</p> <p>(1) ALP およびLDにおけるIFCC対応法移行のための情報提供について</p> <p>(2) 総会出席役員について総会時の表彰者について</p> <p>(3) 令和2年度和臨技精度管理調査事業の実施について</p> <p>事務局報告</p> <p>4月7日に和歌山県より復権令の効力と医師等の行政処分に関する書類が届いたと報告した。</p> <p>4月7日に和歌山県より医療事故の再発防止に向けた提言第10号及び第11号の公表に関する書類が届いたと報告した。</p> <p>4月27日に和歌山県より医療事故情報収集等事業第60回報告書に関する書類が届いたと報告した。</p> <p>5月19日に日臨技より今後のPCR検査の需要拡大に対応するための検査体制確保に関する書類が届いたと報告した。</p> <p>承認事項</p> <p>メール会議にて下記の3項目において行った。</p> <p>承認事項</p> <p>(1) ALP およびLDにおけるIFCC対応法移行のための情報提供について</p> <p>学術部長より、日本臨床化学会(JSCC)では2020年4月1日より血清アルカリフォスファターゼ(ALP)および乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)について、常用基準法を国際臨床化学連合(IFCC)の基準操作法に準じた方法に切り</p>			

替える方針で、今後1年間をかけて国内の施設に対し、切り替えを進めていくことになり、今年度の施設責任者会議で話し合う議題であったが、新型コロナウイルス感染症のため延期になり、各施設に情報提供をする。

(2) 総会出席役員について総会時の表彰者について

事務局より、現在、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっているなか、役員の感染の機会を減らすために、和臨技定時総会においても役員の出席者を選出し総会を開催する。

(案) 出席して頂く役員

次期理事（田中、神藤、田原、栗林、久保、丸澤、森下で往来等を考慮した7名）、現会長（竹中会長）、資格審査委員（森井理事）、選挙管理委員長（医大 中村氏）監査（ひだか病院 畑監事）、総会議長（2名 医大）、書記（2名もしくは1名 医大）、議事運営委員（医大 松下氏1名）、最大16名です。

(3) 令和2年度和臨技精度管理調査事業の実施について

学術部長より、新型コロナウイルスの流行に伴い、現在、和臨技全体の事業が頓挫しており、精度管理事業の中止も考えましたが、和臨技精度管理しか参加していない施設も多数あり、また、検体管理加算を取得する要件として外部精度管理の受審が明記されていることなどから、今年度の精度管理事業を実施したいと考える。

しかし、和臨技システム導入に伴う会員への説明会開催や、班員による試料の事前調整ならびに梱包・発送準備の際の参集等で支障が出る可能性が高く、学術部長・精度管理委員・班長等と検討を重ねた結果、例年通りの内容で実施できないと判断し、事業を縮小した形で実施していく。

<今年度の和臨技精度管理実施内容>

1. 対象項目はCBC・生化学のみ（試料調整の必要がないこと、参加対象施設が多いこと）
2. システムは次年度までの旧運用にて行う（JAMTQC システムの運用は次年度へ繰越）
3. 試料・梱包発送準備
（従来通り和医大検査部の使用許可を頂く、梱包作業も和医大所属班長・班員に協力頂く）

竹中会長より和歌山医大の中村技師長に経緯説明の上、ご快諾頂いている。

以上

承認事項については、役員全員の承認が得られたことを報告する。

記録作成	令和2年5月28日	氏名	神藤 洋次	提出	令和2年6月2日
------	-----------	----	-------	----	----------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可